

銅・アルミ

市況見通し

7月

銅

5月の伸銅品生産(速報値)は、前年同月比で27・5%増の6万1410ト。対前年

同月比では5カ月連続の増加となった。14品目全宗で、前年同月実績を上回った。品別では銅条が2万1983トで同33%増、銅管が8560トで同17%増、黄銅棒が1万3648トで同17%増、黄銅条が7745トで同40%増、青銅板条が2541トで同46%増だった。

銅輸出は、電気銅が同21・6%減の4万3107ト、銅スクラップが同62・2%増の3万6950ト。

銅輸出は電気銅が内

需要因から減少し、銅スクラップが旺盛な外需に伴い増加した。銅輸入は、電気銅が同90・2%減の96ト、銅スクラップが同2%増の8515トだった。

LME銅・為替予想

今月は「米経済、景気対策」と「中国の景気動向、原料価格抑制策」に左右される。前者は、バイデン米政権が6月24日に超党派で1・2兆円規模のインフラ投資で合意したこと、米景気は回復傾向が続くとみている。今回の超党派によるインフラ投資法案の合意は、共和党が米国憲法で放出されたため、ある程度余裕がある項目のインフラ投資(ハードインフラ)を中心とまとめた内容となる。後者は、16日発表の5月中国工業生産の伸びは4月の9・8%から8・8%に鈍化した。

銅スクラップ 背景予想

銅輸入量は電気銅が内需要因から急減し、銅スクラップは内需回復により微増となった。

アルミ

5月のアルミ生産(板類・押出類)は同22・8%増の6万5ト(7カ月連続の増)。出荷は同67・4%増の6万407ト(7カ月連続の増)だった。輸出はアルミ新地金が同35・9%増の130ト、アルミ2次合金が同6・9%増の1247ト、アルミスクラップが同41・4%増の2万4528ト、アルミ缶が同14・6%減の6882ト。

アルミスクラップ 背景予想

5月のアルミニウム2次合金・同合金地金生産は同66・8%増の6万5ト(7カ月連続の増)。出荷は同67・4%増の6万407ト(7カ月連続の増)だった。

LME価格

LME価格は2400〜2500ドル/トで高止まりした。このため流通(二次問題)の在庫は玉不足が続くと見込んでいる。

橋本アルミ取締役 橋本 健一郎氏レポート



5月の銅電線出荷量は同9・1%増の4万5900トで、うち国内が同8・2%増、輸出が同80・4%増加した。

7月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	9000~10000ドル	横ばい
電気銅建値	104~111万円	横ばい
為替(1ドル)	109~111円 (1カ月間TTM)	円安

電気銅建値は117万円の高位安定から一落し、流通(二次問題)の在庫はこのタイミングで放出されたため、ある程度余裕がある項目のインフラ投資(ハードインフラ)を中心とまとめた内容となる。後者は、16日発表の5月中国工業生産の伸びは4月の9・8%から8・8%に鈍化した。

7月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後場買い	2400~2600ドル (現物後場買い)	横ばい
スクラップ	据え置きから プラス5円 (前月最終価格より)	強い

5月のアルミニウム2次合金・同合金地金生産は同66・8%増の6万5ト(7カ月連続の増)。出荷は同67・4%増の6万407ト(7カ月連続の増)だった。

LME価格は2400〜2500ドル/トで高止まりした。このため流通(二次問題)の在庫は玉不足が続くと見込んでいる。